

# 教育委員コラム

## ●●● 教育委員リレーコラム ●●●

### 《3. 11から想う～ボランティアを通じて～》

教育委員 菅原 誓之

震災からひと月が過ぎた4月、ワゴン車に物資を満載し青森港から沿岸部を南下し仙台へ、この日1日で600km、15時間に及ぶ活動であった。

支援物資の供給はもちろん、職業上、遺体安置所での読経ボランティアなど、目をそむけたくなる光景。

経験した事のない状況下での活動、報道では伝わらない五感で感じる非日常の感覚。どの街を通過しても心が重くなる一方だった。ただ、避難所の方々と話を交わす事が唯一の安らぎだったのかもしれない。

そんな中、一番初めに偶然訪れた避難所が岩手県宮古市の赤前小学校である。

物資を降ろした時、子供達が作業から戻ってきた。授業ではなく作業？なぜなら学校には200人近い被災者がいて授業が出来ないからだ、食事に使う椎茸を採って来たとの事。

何気なく「いま何が食べたい」と聞く…「ステーキ」・「お寿司」と小学生らしい答えが耳に残った。その言葉から、後2回の訪問が始まる事となる。ステーキや寿司とはいかないが、多くの方の協力で子供たちに縁日や、仮設住宅の方々へ弟子屈町ならではの地場産品を届ける事が出来た。

子供達も2～3度目になると「北海道のおじさん～」と迎えてくれる。ただ、家路に帰るのがグラウンドの仮設住宅。その後ろ姿がなんとも悲しく忘れられない。

ただ、被災地を思うのではなく、相手への想いから今自分に何が出来るのかを見出したい。



(次回のリレーコラムは藤原委員です)



弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場  
電話：015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>







# 教育あっちこっち情報



## 「川湯中学校で職業体験講話をしました」

9月6日川湯中学校で、2年生の職業体験の前に「働く大変さや喜びについて」話をしました。

講話など普段機会が無いので、当日はこちらの方が緊張しますが、以前高校の新卒を3年間10名程受け入れた時の事や、中国から研修生を8年間18名受け入れていた時の経験などを話しています。

今の社会は、明日どうなってしまうか分からないほど厳しい現実を私達は抱えているのですが、すぐ側の子供達には伝わっていないという不思議な現象があります。

昔のように明日炊く薪が無いとか食べ物が無いなど一目瞭然の現実があれば分りやすいのですが、普段通りの生活の中では親の精神的な苦労など見えにくいのでしょう。

子供達には社会に参加できる大人になって欲しいと思います。

教育委員 榎本 悦子



## 「是非、生徒の皆さんに伝えたいこと…それは」

挨拶で徳永哲雄町長が、誇らしげな顔で弟子屈の生徒達の活躍の話をしています。(9月8日 屈斜路プリンスホテルでのレセプションの場の事です)

9月9日・10日と2日間、摩周観光文化センターで開催される700名余りも集う「北海道小学校長会教育研究釧路・弟子屈大会」の役員の皆さん90名程を前にして…です。

常に弟子屈町の教育には深いご理解を頂き、力強いご支援を賜っておりますが、この様に厚い眼差しで子供達を見守っている姿勢は、是非生徒さん達にも知って頂き、みんながより一層努力して、これに応えて頂きたいと感じました。

教育委員長 小澤 重



## 「小学校の花育(はないく)」

新聞報道でも取り上げられたが、2011年度弟子屈町花壇コンクール(摩周フラワーマスター協会主催)の審査会で、今回から新設された学校の部で、弟子屈小学校が最優秀賞の町長賞を受賞したとの事。

町内各学校でも、花壇やプランターにきれいな花が植えられ、学校周辺を華々しく飾っている風景を見かける。きっと、どの花も子供たち一人1人がきれいに咲いてほしいと願いながら植えたものだろう。

まさに「食育」・「木育」に続く「花育」である。『花や緑に親しみ、育てる機会を通して、優しさや美しさを感じる気持ちを育む』とあるのが花育の目的だろう。

今回の賞は弟子屈小学校の児童にとって輝かしい誇りとなったに違いない。

来年の夏、賞の有無に関係なく、各学校が色とりどりの花でいっぱいになっているのが目に浮かぶ。

教育委員 菅原 誓之



## 「第5回更科源藏文学賞贈呈式」

弟子屈町百年(平成15年度)から隔年で開催してきた「更科源藏文学賞贈呈式」が今年で第5回目を迎え、10月1日文化センターで約200名もの参加者を得て開催されました。

全国から寄せられた162編の応募作品の中から受賞された方は、札幌市生まれで大阪府在住の加藤恵何理氏で作品は詩集『孵化せよ、光』でした。

贈呈式後、恒例となった更科氏作詞の校歌が披露されました。

今回は昭栄小学校・川湯小学校・川湯中学校・厚床中学校(CD)・中標津中学校・根室成央小学校・根室高等学校6校の校歌が各学校の児童生徒の手によって披露され、最後に更科氏作詞・廣瀬量平作曲の組曲「海鳥の歌」から2曲を混声合唱団60名で披露され、大きな拍手が贈られていました。

まさに音楽祭風文学賞でした。

教育長 小林 俊夫



## 「ハジケル青春～弟子屈中学校文化祭～」

新築された学校で初めての文化祭。クラス展示を「ダブルイメージボード」という作品に変更するなどのチャレンジもあり、今までとは少し違った取り組みがありました。

毎年楽しみにしている合唱コンクールでは、伝統を感じさせる熱唱に感動しました。そして閉祭式でのメインイベント、展示や壁新聞・演劇・合唱コンクール等の各賞が発表される度に、体育館に歓声やため息…。そしてはち切れんばかりの笑顔と涙…。スポットライトの先のガッツポーズ。長い時間をかけて全員が熱くなった「青春」がハジケル瞬間に立ち会える時、オジサン的心も熱くしてくれます。

委員長代理 藤原 将男



## == 編集後記 ==

2回目の「教育委員コラム」が予定より1ヶ月遅れで発行となりました。本来今回のリレーコラムは藤原委員の予定でしたが、菅原委員が東日本大震災のボランティアとして岩手県・宮城県に行かれたことから、順番を変更して寄稿していただきました。被災地への支援は今後も息の長い活動となりますね。

さて、次回の発行は2月頃を予定しておりますので、是非ご期待ください!

弟子屈町教育委員	委員長	小澤 重
	委員長代理	藤原 将男
	委員	榎本 悦子
	委員	菅原 誓之
	教育長	小林 俊夫